甲府市立玉諸小学校　学校だより　Garden of learning　第２号

学びの庭

学校教育目標
知・徳・体の調和のとれた児童の育成を図り，
児童一人一人のよさや可能性を伸ばす。

〒400-0814　山梨県甲府市上阿原町491番地　電話 055-233-2447 FAX 055-233-2451　E-mail:tamamoro-e@es-jhs.kai.ed.jp

創立 明治５年 １８７２年　令和４年（2021年）５月２日　発行責任者　校長　山本英寿

新緑の若葉のように

校庭の木々や街路樹が目に鮮やかな新緑に包まれ，風薫る季節となりました。若々しい葉は，ぐんぐん成長している玉諸小の子どもたちのようです。

さて，新年度が始まって１か月が過ぎ，学習や当番活動などの学校生活も軌道に乗ってきました。新しい友達と校庭で仲よく遊ぶ姿も見られます。最初は緊張していた１年生もすっかり学校生活に慣れてきたようです。教室からは元気な返事や明るい声が聞こえてきます。

朝の集団登校での，班長さんをはじめ上級生が１年生を気遣いながら歩いてくる姿には感心させられます。下級生の子どもたちにとって，こうした優しいお兄さんやお姉さんに出会えたことは，とても幸せなことです。そして，今は下級生の子どもたちも，大きくなったら頼りになる上級生になってくれることと思います。上級生から下級生へと受け継がれていく玉諸小のよさを大切にしていきたいと思います。

あいさつの輪を広げよう

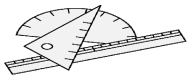
人と人とがコミュニケーションをとる上で最も大切なのが『あいさつ』です。目と目を合わせてあいさつをすることで，お互いの存在を認め合うことができます。朝の元気な「おはよう」「おはようございます」では，今日も一日，頑張ろうの励ましが，「ありがとう」には，相手への気遣いや感謝が，「さようなら」には，今日も一日楽しかったね，また明日など，それぞれの『あいさつ』には意味が込められています。

高学年の子どもたちには，あいさつのもつ意味を理解して，自分から進んであいさつができるようになってほしいと考えています。また一方で，低学年の子どもたちには，あいさつの気持ちよさを感じてほしいと考えます。

【学校探検の1年生ー校長室ー】

あいさつの大切さを子どもたちと確認し合い，あいさつあふれる玉諸小を目指して取り組んでいきたいと思います。子どもたちは，学校・家庭・地域で育っていきます。学校でも家庭でも，そして地域でもあいさつの輪が広がっていくことを願っています。

全国学力・学習状況調査に取り組みました



４月１９日（火）に，６年生が全国学力・学習状況調査に臨みました。今年度の調査は，国語と算数に理科（３年に１度程度の実施）が加わりました。これまで別々だった知識に関する問題と活用に関する問題が，今年度もまとめて問われる形式になり，活用力がより重視されています。また，児童質問紙による調査もありました。普段，実施している単元ごとのテストとは異なり，２０ページにも及ぶテストを行うことは，子どもたちにとってなかなか大変なことですが，みんな真剣に問題に向き合っていました。

この調査は，児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し，各教科における課題や児童生徒の生活状況の実態等を明らかにすることにより，各学校における児童生徒への指導内容の充実や指導方法の改善，日々の生徒指導等に役立てることなどを目的としています。今後，調査結果を詳細に分析し，よりよい学習指導，生活指導につなげていきたいと考えています。

【真剣に問題に取り組む６年生】

学校と家庭がスクラム組んで！

授業参観は動画配信，学年総会は書面による開催

今年度，年度始めの授業参観については，新型コロナウイルスの感染症対策のため，子供たちの学習の様子を録画し，YouTube での動画配信（限定配信）としました。また，学年総会におきましても，保護者の皆様のご理解とご協力をいただく中で，書面による審議，決議とし，今年度の学年経営方針・予算などの承認をいただくことになりました。ＰＴＡ学級役員については，例年のように学級懇談会時の選出はできませんでしたが，学級委員長や専門部員に，定員を上回る多くの保護者の皆様に立候補していただき，厳正な抽選を行う中で役員を選出させただくことができました。本当にありがとうございました。

今後も，熱意・誠意・創意をもって「一人一人が輝く学校」をめざし，全力で教育活動の充実に向けて取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

有意義な個別懇談に

４月２６日から５月６日までの５日間にわたって実施している個別懇談には，お忙しい中，ご協力いただきありがとうございます。個別懇談を通じて，保護者の皆様と直接，子どもたちについて話したり，保護者の皆様の思いや考えを直にお聞きしたりすることは，教育活動にとても役立ちます。今後も，学校と家庭との連携を密にしながら指導にあたっていきたいと考えています。

学校だよりのＨＰ版をご覧いただけます。

玉諸小学校の校歌の由来

玉諸小学校 校歌

作詞　向井房恵
作曲　坂口五郎

一
夢の国かとまごうほど
広いすがしい玉諸の
柳さくらとつどいたる
学びのにわのゆかしさよ

二
ながめ雪山遠けれど
朝は朝風　夕日かげ
まもる力もうるわしの
野にはれんげの花ざかり

三
春秋ここにいくめぐり
やしろのゆかりとおくとも
新産業にうち向う
六年をほまれのわが母校

本校の校歌が制定されたのは，昭和３９年（1964 年）１０月７日，今から５８年前のことです。校歌には，この地域の自然や歴史を織り込み，子どもたちに明るく元気に育ってほしいという願いが込められています。

玉諸小学校百周年記念誌**「玉諸小学白寿史」**には，次のように書かれています。

「柳の新緑，開き始めた桜のつぼみ，校舎の周りは見渡す限り一面のレンゲ畑。昭和３９年の春，新校舎の屋上へ上られた向井房恵（ふさはる）先生はあまりの美しさに「夢の国のようだ。」と感嘆されたという。それから，玉諸神社をはじめ土地の様子をいろいろ調べられ，明るく力強い校歌を作詞してくださった。なお，それ以前には校歌はなかった。」

校歌作詞者の向井房恵（ふさはる）さん（1889-1975）は，北巨摩郡熱見村（現在の北杜市高根町）出身。谷村工商校長，甲府市助役，第１回公選山梨県教育委員長などを歴任，県教育功労者。玉諸小校歌のほか，里垣小，国母小，貢川小，東小，明見小，秋山中，ろう学校などの多くの校歌や山梨青年団歌などを作詞しました。

校歌作曲者の坂口五郎さん（1901-1975）は，長野県長野市出身。山梨大学教授，同大学名誉教授，帝京短期大学教授などを歴任，県政功績者。玉諸小校歌をはじめ，里垣小，国母小，明見小，谷村第二小，敷島中，双葉中，峡南高校，山梨学院大学などの多くの校歌のほか，山梨県の体育祭りの歌，山梨観光音頭，山梨遊覧小唄などを作曲しました。